

ぼ ち ベレン墓地

つく ひと
作った人：

ディアナ・パオラ・トレス・ゴンサレス
アドリアナ・レネ・ガルサ・サヤス

ディアナさんとアドリアナさんはメキシコ・グ
アダラハラ大学だいがく こうかいこうざの公開講座で日本語にほんごを勉強べんきょうし
ています。この本ほんは多読授業たどくじゅぎょうの最終ワークさいしゅうと
して作りつくました。イラストはディアナさんが描か
きました。写真しゃしんもディアナさんが撮とりました。

また、この本ほんの前編ぜんぺんの「美術館びじゅつかんとタコス」
はこのサイトのレベル2で公開こうかいされています。

ディアナさんとアドリアナさんを手伝てつだった先生せんせい：

おかやす え つ こ せんせい
岡安江津子先生

わたし
こんにちは! 私はディアナです。

じん
メキシコ人です。

がいこく とも き
外国の友だちがメキシコに来まし

わたし ふたり いっしょ かつどう
た。私は二人で一緒にできる活動

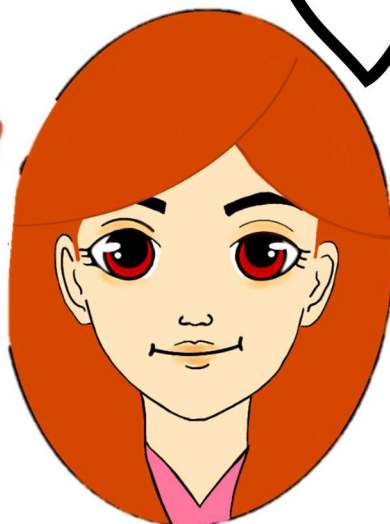
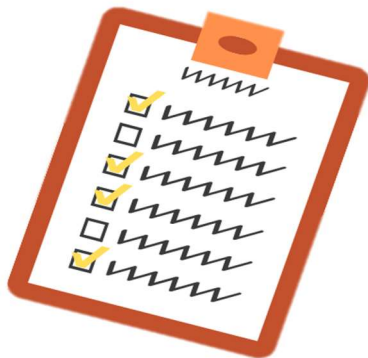
つく
リストを作りました。

ともだち び じゅつかん だい す
友達は美術館が大好きなので、

いちにち め び じゅつかん い
一日目は美術館に行きました。

きょう ふつ か め
今日は二日目です。グアダラハラ

まち あんない
の町を案内します。



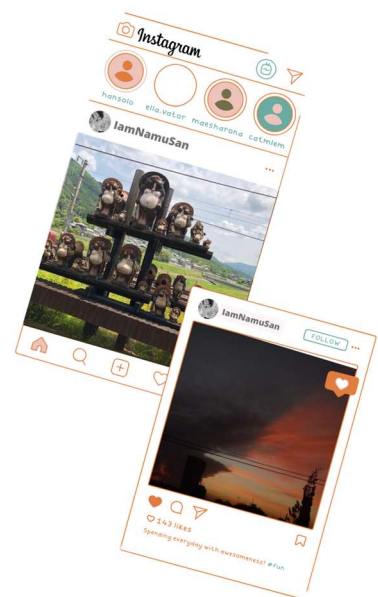
ポケモン
ステッカー



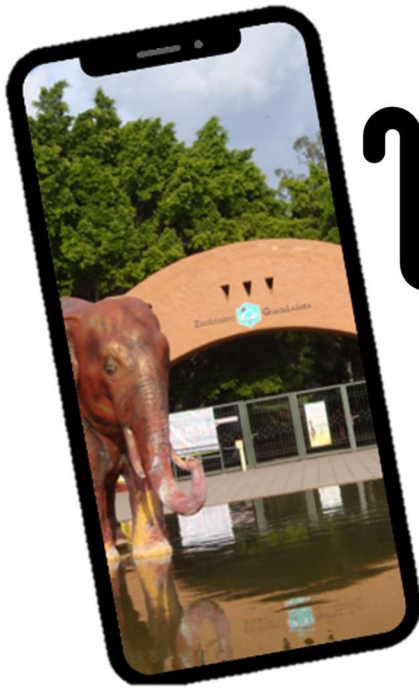
とも
友だちのナムさん
です。かんこくじん
韓国人です。
ポケモンがだいす
大好きで
す。

わたし
ナムさんと私は、
とうきょう だいがく あ
東京の大学で会いま
した。

ナムさんのしゅみ
趣味は、
インスタグラムです。
いろいろなしゃしん
写真や
どうが
動画をアップしてい
ます。



きのう わたし びじゅつかん い
昨日、私たちは美術館へ行きました。



きょう どうぶつえん
今日は、動物園へ
いきます。

どうぶつえん い まえ
でも動物園に行く前に、
ポソレを食べたいです。

ゆうめい
ポソレは、有名なメキシコのスープです。

きゅう けいたい な
しかし…、急に携帯が鳴りました。

ちち でんわ
父から電話です。

わたし

私：もしもし！



ちち　ほん　わす

父：本を忘れた。

も
持ってきてくれる？

わたし

私：うん、持っていくから、

ま
待っていて！

ちち　い　がく　ぶ　せんせい

父は医学部の先生です。

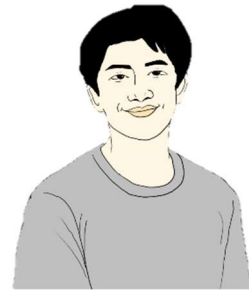
ほん　ひつよう

本が必要です。



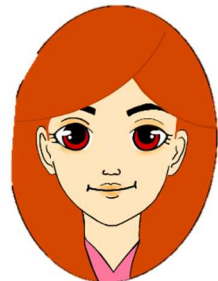
^{いっしょ} ^{だいがく} ^い
ナムさん、一緒に大学に行ってくれる？

^{ちち} ^{ほん} ^{とど}
父に本を届けなくちゃいけないの。



うん、だいじょうぶだよ。

ありがとう。すぐ終わるから。

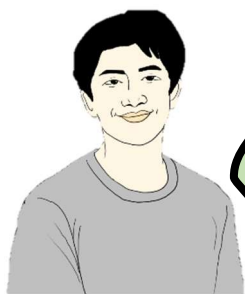


^{わたし} ^{だいがく} ^つ
私たちは大学に着きました。で

^{だいがく} ^{ちゅうしゃじょう}
も、大学の駐車場はいっぱいです。

^{だいがく} ^{ちか} ^{ぼち} ^{まえ}
そこで、大学の近くの墓地の前に

^{くるま} ^と
車を停めました。



なに
ここは何？



ぼち
ベレンという墓地よ。



ぼち
墓地！？

いそ
さあ、急いで！



^{わたし} 私たちは、^{いそ} ^{ちち} 急いで父のオフィスに
^い 行きました。そして、^{じゅぎょう} ^{まえ} 授業の前
に、^{ほん} ^{とど} 本を届けることができました。



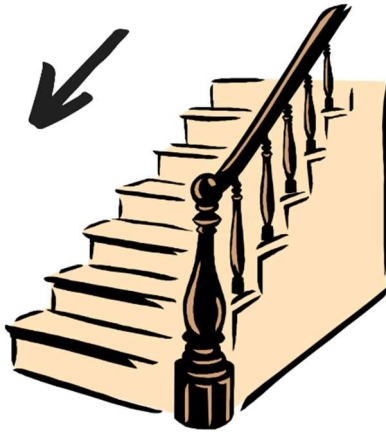
^{たす} 助かったよ。ありがとう。



どういたしまして！

ちち 父^でのオフィスを出ると階段^{かいだん}があります。

かいだん この階段^おを下^ぼりるとベレン墓地^ちです。



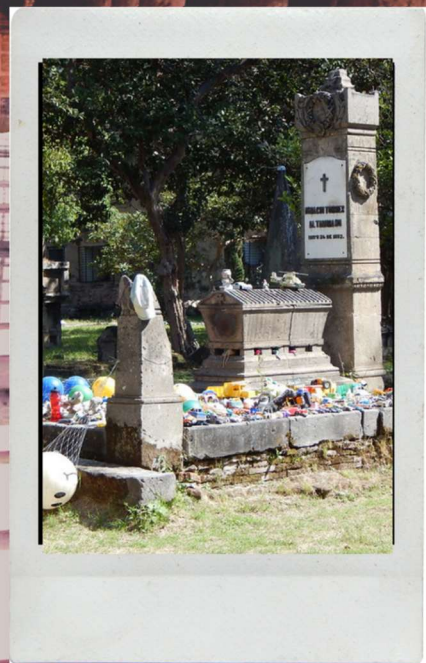
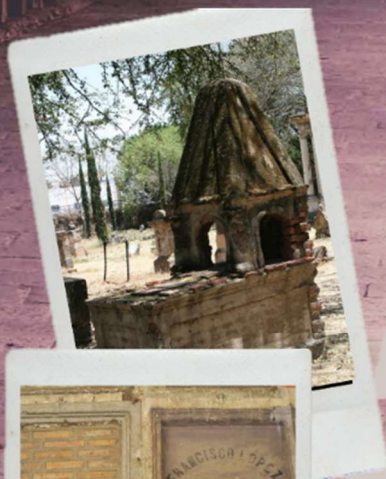
わたし 我^{かいだん}たちは階段^おを降^りりました。

ここがベレン墓地^ちです。



べれん^{ぼち}墓地はグアダラハラ市で
いちばん^{ふる}古い^{ぼち}墓地です。1848年^{ねん}
に^た建てられました。

この^{ぼち}墓地にはいろいろな^{でんせつ}伝説が
あります。

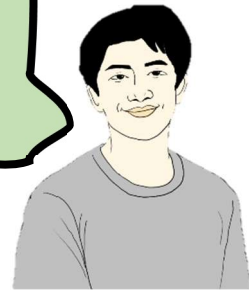




これを^み見て!

ナチト^{くん}君という^{おとこ}男^この子のお墓^{はか}よ。

ナチト^{くん}君?それは、だれ?



これから、ナチト^{くん}君の^{はなし}話を
するね。

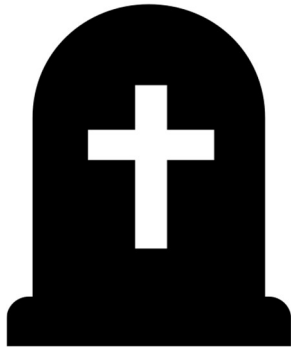
むかしむかし、ナチトという男^{おとこ}の
子^こがいました。かわいくてやさしい
男^{おとこ}の子^こでした。公園^{こうえん}で遊ぶ^{あそ}ことが好^す
きでした。

でも、ナチト君^{くん}は暗^{くら}くて狭^{せま}い場所^{ばしょ}
が好^すきじゃなかったんです。

まいばん^{まいばん}毎晩^あドアを開けて、たくさんのろ
うそく^{ろうそく}を点^つけたまま寝^ねていました。

とても風の強い夜のことでした。

その夜、ドアが閉まり、ろうそくが
消えました。ナチト君はあまりにも怖
くて死んでしまいました。



両親は悲しんで、ナチ
ト君をベレン墓地に埋葬
しました。

それから、両親は家へ
帰りました。

だからその後、とても
怖いことが起きたのを知
りませんでした。





でも、墓地をパトロー
ルする人は変なことに
気がつきました。

ナチト君の遺体が墓の外に
出ていたのです。その人はと
ても怖がりました。



次の日、パトロールの人はナチト
君の遺体をもう一度墓の中に入れま
した。

でも、夜^{よる}になると、ナチト^{くん}君の遺^い体^{たい}
はまた墓^{はか}の外^{そと}に出^でています。

パトロール^{ひと}の人は怖^{こわ}くなって、ナチ

ト^{くん}君の両^{りょうしん}親^よを呼^よびました。



なん
何^{なん}ですか?!

わたし たす
私^{わたし}を助^{たす}けてください。



でも、ナチト^{くん}君の両^{りょうしん}親^よもどうしたら

いいか、分^わかりませんでした。

ふたり こわ おも
二人^{ふたり}も怖^{こわ}いと思^{おも}いました。

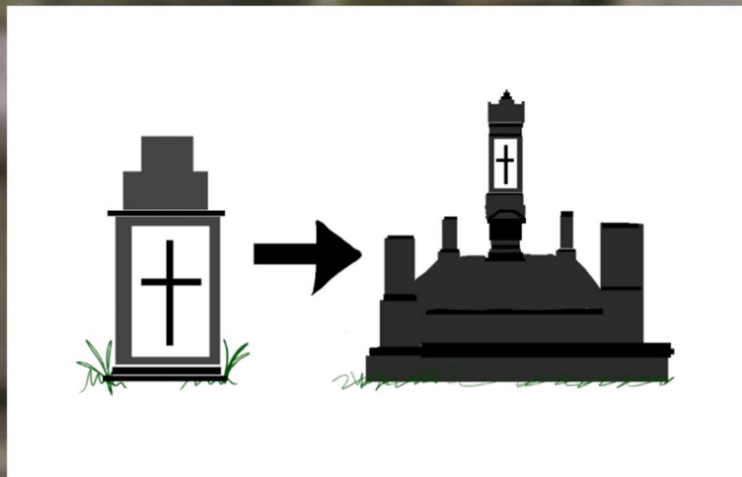
くん りょうしん あたら はか た
ナチト君の両親は新しい墓を建て

くん せま ばしよ きら
ました。ナチト君は狭い場所が嫌い

おお はか
だったので大きい墓にしました。

くら ばしよ きら よる
暗い場所も嫌いだったので、夜の

つき み はか た
月あかりが見えるところにお墓を建
てました。



ひと
パトロールの人はおもちゃを

はか お くん
墓のまわりに置いて、ナチト君が

ひとり かん
一人ぼっちだと感じないようにしま
した。

はか お墓におもち^もゃを持^いって行か
なければなりません。



どうしてですか？

くん だれ あそ
ナチト君は誰かと遊^{あそ}びたがって

います。ナムさんを見^みると、ナム

さん^{あそ}と遊^{おも}びたいと思うでしょう。



でも、おもちゃを持っていけば、

おもちゃで遊んでくれます。

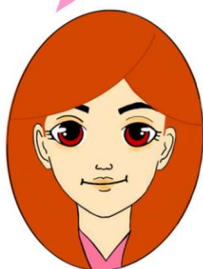


おもちゃを持っていかなければ、
ナチト君は遊んで欲しくて、ナムさ
んの後について来ますよ。



みて! 吸血鬼*の墓
もありますよ!

*吸血鬼=vampire



ナムさん? どこ?

み
見たくない!

ひとり
一人にしないで!



ポソレも食^たべたい! 動物園も
い^い行きたい! でも、墓^ぼ地^ちには
い^い行きたくないですよ。

ま
待ってください!



ぼ ち き
墓地はいつ来ても

たの
楽しめますよ。

ご
(1038語)

おわり